# 第10講　織豊政権による統一
# PART5 資料・史料と近世

## Chapter 1　考古学の資料

目標
「近世」の観光地から得られる新たな視点を学ぼう。
人骨が語る多くのことについて知ろう。

### 1　近世の遺物

**①古代・中世に比べ出土量が増加**

②観光地化されている場所もより多い→例：日本の世界文化遺産

**著名な観光地となった場合の考古学的遺物視点からの問題点を考察しよう。**

A　〔1　　　　　　〕（兵庫県）

1993年，法隆寺地域の仏教建造物（奈良県，文化遺産），

屋久島（鹿児島県，自然遺産），

白神山地（青森県・秋田県，自然遺産）とともに日本初の世界遺産登録。

B　〔2　　　　〕の社寺（栃木県）

徳川家康を東照大権現として祀るなど。

C　〔3　　　　　　　　〕遺跡とその文化的背景（島根県）

中世～近世にまたがる世界有数の銀山。

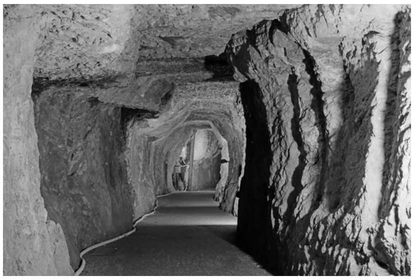
D　〔4　　　　　　〕―信仰の対象と芸術の源泉―（山梨県・静岡県）

自然遺産登録は不可となり文化遺産登録へ。

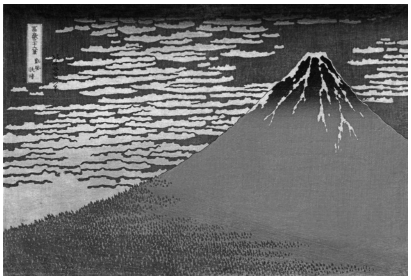
※現状，日本に複合遺産はない。

E　長崎と天草地方の〔5　　　　　　　　　　　　　〕関連遺産（長崎県・熊本県）

宗教関連の文化遺産。



石見銀山遺跡



富嶽三十六景『凱風快晴』

## 2 近世の人骨

自然災害の遺物を見て，どんなことが起こり，

どんな過ちを犯し，どのように復興してきたのかを知る。

①地震

**安政江戸地震（1855年）**

②津波

慶長三陸地震津波（1611年）

③噴火

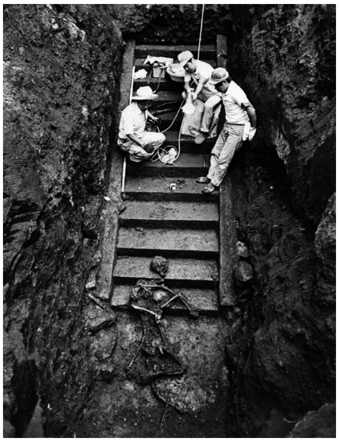
A 〔6 〕の**宝永**噴火（1707年）

B 〔7 〕の**天明**噴火（**1783年**）

④その他

台風・水害・土砂災害など。

※明暦の大火〔振袖火事〕（1657年）などの火災は人災の場合が多い。



浅間山大噴火で亡くなった母娘の人骨

まとめ

有名観光地として指定されることで，遺物の破壊が進み

維持が難しくなるが，管理費収入の増加や地域おこしにはつながる。

自然災害で亡くなった人骨から，将来の対策を学ぶことができる。

# Chapter 2　歴史学の史料

目標
史料を対比して考察する効果を知ろう。
世界的に有名な日本の資料について知ろう。

## 1　近世の文献史料

①近世日本の客観的文献史料の例

A 『〔1　　　　　　　　〕』**（江戸時代）**

あ **元和令（2代将軍秀忠）**

「**文武**〔2　　　　〕の道，専ら相嗜むべき事」

い **寛永令（3代将軍家光）**

「大名小名，在**江戸**交替，相定る所也。毎歳夏四月中〔3　　　　〕致すべし」

う **天和令（5代将軍綱吉）**

「**文武**〔4　　　　〕を励まし，〔5　　　　〕を正すべき事」

B 『〔6　　　　　　　　　　　　〕』**（江戸時代）**

「〔7　　　　〕諸芸能の事，第一**御学問**也」

②近世日本の主観的文献史料の例

A **狂歌・川柳**

あ 田沼時代

「年号は安く永しと変はれども諸色高値今にめいわ九」

「浅間しや富士より高き米相場火の降る江戸に砂の降るとは」

**「役人の子はにぎにぎをよく覚え」**

い 寛政の改革

**「世の中に蚊ほどうるさきものはなしぶんぶといふて夜も寝られず」**

「どこまでもかゆき所に手の届く徳有る君の孫の手なれば」

**「白河の清きに魚の住みかねてもとの濁りの田沼恋しき」**

う 大御所時代

「水の出てもとの田沼になりにけり」

B　**『海国兵談』**（[8　　　　　　]）

「当時，長崎に厳重に石火矢の備有て，却って安房・相模の海港に其備なし。

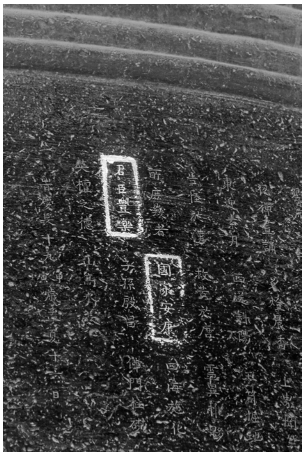
此事甚不審。**細かに思へば江戸の日本橋より唐，阿蘭陀迄境なしの水路也。**

**然るを此に備ずして長崎にのみ備るは何ぞや**」

③近世日本の歴史を動かした金石文

**『方広寺鐘銘』**（安土桃山時代）

→「国家安康」「君臣豊楽」

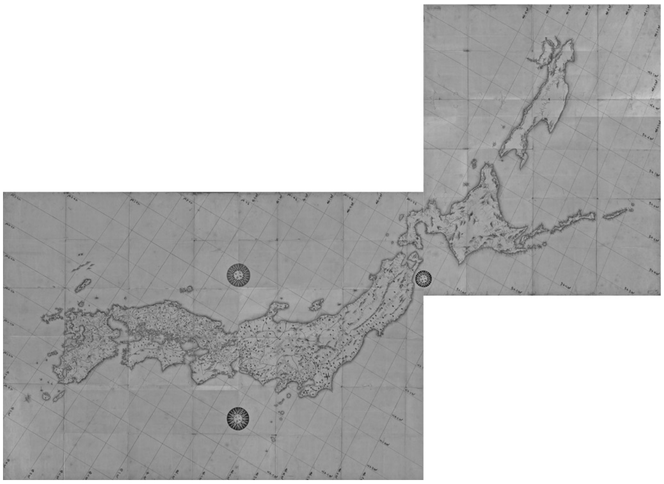


方広寺の鐘銘

## 2　近世の絵図

**『大日本沿海輿地全図〔伊能図〕』**（[9　　　　　　　　]）の驚くべきポイントをいくつか考えよう。

伊能忠敬


大日本沿海輿地全図〔伊能図〕

まとめ　各時期の史料を対比させることで，世相がより浮き彫りになることがある。伊能図のように，現在に至るまで世界を驚かすような資料も多い。

# 第10講　PART5　確認問題

**1** 1993 年,「法隆寺地域の仏教建造物」などとともに,
日本で初めて世界遺産に登録されたのはどれか。

① 原爆ドーム　② 平泉
③ 厳島神社　④ 姫路城

**2** 「日光の社寺」の東照宮に祀られているのはだれか。

① 徳川家康　② 徳川家光
③ 徳川綱吉　④ 徳川吉宗

**3** 世界自然遺産に**あてはまらない**のはどこか。

① 知床　② 屋久島
③ 富士山　④ 白神山地

**4** 1783 年，天明噴火と呼ばれる大きな噴火が起こったのはどれか。

① 富士山　② 桜島
③ 浅間山　④ 普賢岳

**5** 武家諸法度の寛永令を出したのはだれか。

① 徳川綱吉　② 徳川秀忠
③ 徳川家綱　④ 徳川家光

**6** 「世の中に蚊ほどうるさきものはなしぶんぶといふて夜も寝られず」は，どの時代につくられた狂歌・川柳か。

① 大御所時代　② 田沼時代
③ 享保の改革時　④ 寛政の改革時

**7** 『海国兵談』を著したのはだれか。

① 林子平　② 杉田玄白
③ 伊能忠敬　④ 中江藤樹

**8** 近世日本の歴史を動かした鐘銘がある寺はどれか。

① 建仁寺　② 方広寺
③ 大徳寺　④ 本能寺

# 第10講　PART5　確認問題 解答

**1** 解答：④　①の原爆ドームと③の厳島神社は1996年，②の「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」は2011年に世界遺産に登録された。

**2** 解答：①　「日光の社寺」のうち，日光東照宮に徳川家康が東照大権現として祀られている。

**3** 解答：③　「富士山—信仰の対象と芸術の源泉—」として世界文化遺産に登録された。

**4** 解答：③　富士山では，1707年に**宝永**噴火と呼ばれる大きな噴火が起こった。

**5** 解答：④　寛永令では参勤交代について定められた。①の徳川綱吉は**天和令**，②の徳川秀忠は**元和令**を出した。

**6** 解答：④　①の大御所時代には「水の出てもとの田沼になりにけり」，②の田沼時代には「役人の子はにぎにぎをよく覚え」などが詠まれた。

**7** 解答：①　②の杉田玄白は『解体新書』を出版した。③の伊能忠敬は，全国の沿岸を測量し，『**大日本沿海輿地全図〔伊能図〕**』をつくった。④の中江藤樹は日本陽明学の祖。

**8** 解答：②　豊臣家が再建した**方広寺**の釣り鐘の銘に「国家安康」「君臣豊楽」と記されていたことから，徳川家康が言い掛かりをつけ，大坂冬の陣を起こした。